

## 第 234 回東京支部技術フォーラムのご案内

本年 4 月 27 日、「医療放射線の適正管理に関する検討部会」からの報告・提言により、厚生労働省は CT 検査に関する被ばく線量記録を義務化する方針を決定しました。この報告書では DRLs2015 の導入も提案しており、医療法の改正にて対応していくことをあわせて了承しています。また、本年 4 月より、適切な線量管理・記録を行うことで加算が認められるよう診療報酬改定も実施され、診療報酬の面においても被ばく管理が重要であることが示されました。

放射線医療機器は 2000 年以降、順次線量表示・記録が要求事項となり、現在販売されているモダリティでは概ねこの機能を有しています。今後、この記録を適正に管理し有効に利用することは、医療被ばく低減において重要な役割を担うことができると考えられます。

この現状を踏まえ、当研究班では「被ばく線量の記録・管理」をテーマに、線量記録の適切な管理・運用方法、その一つのツールとしての線量管理ソフトの現状について学び、患者単位での被ばく管理の取り組みについて議論する場を設けました。既に被ばく管理ソフトを導入し実際に管理を運用している施設、これから導入を検討している施設の方など、皆様の参加をお待ちしています。

日 時 : 2018 年 8 月 24 日 (金) 19:00~20:30 (18:30 受付開始)

会 場 : 日本大学病院 5 階 大会議室 (JR 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋出口より徒歩 3 分)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-6

参加費 : 会員 1,000 円 非会員 2,000 円 学生会員 無料 学生非会員 500 円

事前申込 : 不要

プログラム : テーマ「医療被ばく低減に向けての被ばく線量の記録と管理」

1) 19:00~19:40

「被ばく線量の記録と管理 ー概要と診療報酬の改定についてー」

一般社団法人日本画像医療システム工業会 鈴木 真人

2) 19:45~20:05

「被ばく線量の記録と管理 ー線量管理ソフトウェアの現状ー」

X 線線量情報の一元管理システム ーRadimetricsー

バイエル薬品 (株) ラジオロジー事業部 山内 宏祥

3) 20:10~20:30

ディスカッション

\*フォーラム終了後に情報交換会 (懇親会) を予定しています。

認定単位 : このフォーラムでは、下記の認定機構の更新講習会受講単位が取得できます。

日本救急撮影技師認定機構「救急撮影認定技師」(2 単位)

肺がん CT 認定機構「肺がん CT 認定技師」(5 単位)

注意事項 : 会員の方は「会員カード」、学生の方は「学生証」を持参してください。

問合せ先 : 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部 放射線管理・防護・計測研究班

E-mail jsrt.tokyo.mrpm@gmail.com

担当 放射線管理・防護・計測研究班